

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
74	生涯学習振興事業	生涯学習課	市民があらゆるライフステージで「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」学習できるよう、講座の方法、地域のある人材の活用等を図り、市民と協働で行う生涯学習の新しいスタイル等を実践した。 市内4大学に依頼し、各6日間の講座を開催した。	年間講座開催数 24回	4,853	4	3	3	4	3	17	市民ニーズを十分に把握し、ニーズに合った講座内容にするとともに、受益者負担を含め今後のあり方について検討する必要があるため。	要改善	見直し (改善)
75	あつぎフィルム・コミッション事業	生涯学習課	映画やテレビ、CM等の映像制作活動の支援を行い、ロケーションを誘致した。 観光振興や市のイメージの向上、さらには「我がまち意識の醸成」やエキストラ、ボランティア等を通じて市民参加など地域の活性化を推進した。 ロケ相談件数 253回      ロケ実績数 32回	ロケ地等の 相談件数 253件	956	3	3	3	4	3	16	映像文化振興を事業の目的とするべきか再検討するとともに、効果の検証をして、事業を見直す必要があるため。	要改善	見直し (改善)
76	ハーモニカのまちづくり推進事業	生涯学習課	「ハーモニカのまち」あつぎの周知、啓発を図った。 ハーモニカで第九を楽しむコンサートやあつぎサマー・フェスティバル等の事業を通し、本市の芸術文化の振興を図った。 参加・出演者数及び来場者数 3,550人	参加・来場者数 3,550人	9,983	4	3	3	4	3	17	多文化の創造に向けて、あらゆる芸術文化のジャンルへの拡大が必要であるため。		見直し (統合)
77	あつぎ市民芸術文化祭開催事業	生涯学習課	市民参加による総合的な芸術文化の祭典として、あつぎ市民芸術文化祭を開催し、市民が芸術文化に触れる機会や自主的な文化活動の発表の場を提供して、芸術文化活動の振興と向上を図った。 来場者数 18,334人	出場した市民の数 1,654人	9,752	4	3	3	4	3	17	市民の芸術文化活動の発表場所として定着してきており、更に多くの市民と協働して新たな展開を図る必要があるため。		継続
78	男女共同参画推進事業	男女共同参画課	男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて、啓発活動等を行った。 講座開催回数 17回      参加者数 1,073人	市の審議会等への 女性の登用率 26.0%	3,122	4	4	3	4	5	20	社会情勢を反映した課題に対して、時宜を得た事業を行っていく必要があるため。		継続
79	人権啓発推進事業	人権・同和対策課	人権意識の高揚と人権問題の解消を図るため、講演会や講座の開催、啓発物品・啓発冊子の配布、バス車内広告などの事業を行い、人権尊重の地域づくりを進めることができた。 講演会、講座開催回数 2回      参加者数 446人	参加者数 446人	5,030	4	4	3	3	4	18	人権問題の解消は、市民が安心して快適に生活を送る社会の実現には不可欠で、継続して市民意識の啓発を推進する必要があるため。		継続
80	人権擁護事業	人権・同和対策課	人権問題の解消を図るため、人権擁護委員と連携し、人権相談、人権作文・ポスターコンテストなどの事業を行った。 基本的人権が尊重され、だれもが安心して快適に生活を送ることができる人権尊重の地域づくりを進めることができた。 人権相談開設数 40回	人権相談件数 17件	1,020	4	4	3	3	4	18	厚木人権擁護委員研修会(厚木法務局管内)交付金の廃止を検討する必要があるため。		見直し (縮小)
81	コミュニティ推進事業	市民活動推進課	明るく住み良いふるさとの実現と地域住民間の連帯意識の高揚を図るため、各地区の「ふるさとづくり推進協議会」の支援、道標や市民憲章板の設置をした。	市内に定住したい 人の割合 76.3%(H17)	12,715	5	3	4	4	4	20	目的に対する実施内容の妥当性を精査する必要があるため。		見直し (改善)
82	地域集会施設建設費等補助事業	市民活動推進課	地域の方々により集まりやすい環境を提供することによって、自治会の発展や地域住民相互の親睦を深めることを目的として、コミュニティ活動の拠点となる地域集会施設の新築及び修繕費等の補助を行った。 自治会の発展や地域住民相互の親睦を深めることができた。 修繕等実施件数 28件	地域集会施設の 保有件数 133自治会	34,637	5	4	3	4	4	20	地域住民のコミュニティ活動の拠点として、地域集会施設の整備を行っていく必要があるため。		継続

平成19年度行政評価(平成18年度実施計画事業)

No.	事業名称	所属名称	事業説明	事業指標	H18年度 決算額 (単位:千円)	事業 の 必要 性	事業 の 優先 性	事業 の 経済 性	事業 の 有効 性	事業 の 公平 性	合計	評価結果の具体的理由	仕分け 結果	評価結果
83	ボランティアセンター 設置・運営事業	市民活動推 進課	ボランティア活動サポート室の運営と市民活動保険制度を実施することにより、ボランティア活動及び市民活動を支援する。市民活動の場を提供し、市民活動が活発になった。 登録団体数 72団体 サポート室利用件数 616件	サポート室利用件数 616件	8,443	5	3	3	4	5	20	団塊世代の退職によりボランティア等市民活動人口の増加が見込まれ、当事業に対する期待が高まり、サポート事業の更なる展開の必要があるため。		継続
84	七沢自然ふれあいセ ンター施設改修事業	七沢自然ふ れあいセン ター	七沢自然ふれあいセンターの施設管理に当たり、その施設機能を十分発揮できるよう施設の改修を計画的に実施する。 宿泊棟Bの外部改修工事、プレーホールの外部改修工事、電気関係工事を実施した。	工事件数 4件	42,245	5	5	3	3	3	19	七沢自然ふれあいセンターの特色を生かし、利用しやすい施設の整備充実を今後も図っていく必要があるため。		継続
85	青少年健全育成事業	青少年課	青少年健全育成大会の開催や地域における青少年育成活動事業への助成などを実施したことにより、地域ぐるみの青少年活動の推進が図られた。 大会等参加者数 5,940人	イベント参加者数 5,940人	18,906	4	4	4	4	4	20	関係団体の活性化を図り、今後も地域活動を支援していく必要があるため。		継続
86	青少年指導者養成事 業	青少年課	地域で心豊かな青少年を育成するため、知識や技術の習得を図る研修会を実施したことにより、地域での青少年指導者の養成と自発的な活動の推進が図られた。 研修会参加者数 312人	研修会参加者数 312人	6,466	4	4	4	4	3	19	青少年の健全育成については、他の団体との連携、協力が必要であり、指導者については、地域の人材発掘を継続して進める必要があるため。		継続
87	児童館整備事業	青少年課	児童館の整備を進めることにより児童の安全性及び利便性の向上が図られた。	児童館設置 小学校区 22学区	58,817	4	4	4	4	4	20	子どもたちが、児童館で安全に安心して過ごせるよう、今後も施設の整備(建替え)を実施していく必要があるため。		継続